

教科・科目		学科・学年	単位数	教科書
公民・公共		普通科・2年	2	高等学校公共(帝国書院)
科目の概要と目標		人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。		
学期	単元	学習内容		到達度目標
1 学期	・私たちがつくる社会	・社会の中の私たち ・思想から学ぶべきもの ・私たちの社会の基本原則		・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解する。 ・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。
2 学期	・社会の仕組みと諸課題	・私たちと法 ・私たちと政治		・法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。
3 学期	・社会の仕組みと諸課題 ・持続可能な社会の実現に向けて	・私たちと経済 ・持続可能な社会の実現に向けて		・職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどを基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。 ・持続可能な地域、国家・社会、及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、共に生きる社会を築くという観点から課題を見出し、社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、現代の諸課題を探究する活動を通して、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想する。